

令和元年度

事業報告書

(自) 平成31年4月1日

(至) 令和2年3月31日

社会福祉法人 佐賀市社会福祉協議会

# 目 次

令和元年度事業概要	1 ページ
-----------	-------

## 社会福祉事業

I. 社会福祉事業拠点区分	2 ページ
1 法人運営事業	
2 地域福祉活動事業	
3 共同募金配分金事業	
4 福祉サービス利用支援事業	
5 生活福祉資金貸付事業	
II. 施設経営事業拠点区分	16 ページ
1 老人福祉センター事業	
2 金立いこいの家事業	
3 松梅児童館委託事業	
III. 介護保険等事業拠点区分	17 ページ
1 居宅介護支援事業	
2 通所介護事業	

## 公益事業

IV. 認可外保育施設運営拠点区分	18 ページ
1 松梅保育所運営事業	

## その他の事業

V. その他の事業	18 ページ
1 共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力	
2 日本赤十字社事業の推進	

## 令和元年度事業概要

佐賀市社会福祉協議会では、佐賀市と連携して策定した「第3期佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画」（計画期間：平成28年度～令和2年度）の3つの基本目標である「みんなの主体的な活動を促す環境づくり」、「地域で安心安全な暮らしを支える体制づくり」、「福祉サービスを利用しやすい仕組みづくり」の達成を目指して、令和元年度においても地域福祉を進めるためのさまざまな事業に取り組みました。

特に、計画の重点事業である“地域で見守る体制づくりの強化”を図るために、福祉協力員の設置推進と気軽に集える新たな居場所（コミュニティカフェなど）づくりに取り組みました。

福祉協力員については、新たに130名が選任（保険加入ベース）され、地域福祉活動計画の設置目標の2,000名を超える2,044名の福祉協力員が地域での遠目の見守りを基本とした活動に参加していただきました。また、コミュニティカフェについては、新たに8ヶ所が開設され、24ヶ所のコミュニティカフェが地域の方々の新たな居場所となっています。

このような取り組みに加えて、地域における助け合い・支え合いの関係づくりを進めるために、コミュニティソーシャルワークに専念する地区担当職員6名を配置し、地域の皆さんと一緒に地域福祉課題の解決に向けた支援に努めました。また、「多機関協働による相談支援包括化推進事業」についても、引き続き佐賀市から委託を受け、市役所1階フロアに設置された「福祉まるごと相談窓口」で、2名の相談支援包括化推進員が複合的な福祉課題等を抱えた世帯や、市民等からの相談に応じ関係機関との協働による包括的な支援を行いました。

さらに、要援助者に対する権利擁護の観点から、福祉サービス利用援助事業（あんしんサポート）や成年後見事業においては、個人の生活の質（QOL）の向上を図ることに重点を置く支援を行い、住みなれた地域で生活が送れるように努めました。

こうした取り組みの他、令和元年8月に発生した佐賀県豪雨災害においては、災害ボランティアセンターを設置し、床上浸水の被災者を中心に災害ボランティアの派遣コーディネートを行い、延べ214件の世帯の支援を行い、被災された世帯の生活再建に向けた活動を行いました。

## 社会福祉事業（473,970,170円）

### I. 社会福祉事業拠点区分（352,907,049円）

#### 1 法人運営事業（202,614,429円）

##### （1）役員会開催状況

- ① 第1回理事会 令和元年6月5日（出席11名 欠員2名）
  - 第1号議案 平成30年度事業報告並びに資金収支決算について
  - 第2号議案 役員の選任候補者の推薦について
  - 第3号議案 評議員の補充選任候補者の推薦について
  - 第4号議案 令和元年度定時評議員会の招集について
  - 第5号議案 苦情解決第三者委員の選任について
  - 第6号議案 評議員選任・解任委員会の招集について
- ② 第2回理事会 令和元年6月26日（出席10名 欠席3名）
  - 第1号議案 会長、副会長及び常務理事の選任について
- ③ 第3回理事会 令和元年9月13日（出席13名）
  - 第1号議案 定款の一部改正について
  - 第2号議案 令和元年度第1回資金収支補正予算について
  - 第3号議案 令和元年度第2回評議員会の招集について
  - 第4号議案 定款の一部改正に伴う規程の一部改正について（経理規程、事務局規程、文書規程）
- ④ 第4回理事会 令和元年12月24日（出席12名 欠席1名）
  - 第1号議案 令和元年度第2回資金収支補正予算について
  - 第2号議案 職員給与規程の一部改正について
- ⑤ 第5回理事会 令和2年3月25日（出席11名 欠席2名）
  - 第1号議案 令和元年度第3回資金収支補正予算について
  - 第2号議案 令和2年度事業計画並びに資金収支予算について
  - 第3号議案 職員就業規則の一部改正について

##### （2）評議員会開催状況

- ① 定時評議員会 令和元年6月26日（出席20名 欠席3名）
  - 第1号議案 平成30年度事業報告並びに資金収支決算について
  - 第2号議案 役員（理事・監事）の選任について
- ② 第2回評議員会 令和元年9月25日（出席18名 欠席5名）
  - 第1号議案 定款の一部改正について
  - 第2号議案 地域共生社会の実現に向けた社協の役割と実施体制について

##### （3）評議員選任・解任委員会開催状況

- ① 第1回評議員選任・解任委員会 令和元年6月12日（出席5名）
  - 第1号議案 評議員の補充選任について

##### （4）監査状況

- ① 令和元年度事業・会計監査  
令和元年5月22・23日

##### （5）苦情の受付及び解決状況

苦情解決システム管理要綱に基づき、利用者等からの苦情について適切な解決を図った。  
(対応件数8件)

##### （6）福祉バスの運行

団体会員として登録している市内の各種福祉関係団体・サロン等が、研修・ボランティア活動等を行う際、円滑な活動ができるよう、マイクロバスの運行を行った。  
運行件数：285件

(7) 実習生の受け入れ

種別	人数	実習期間	学校・事業所
社会福祉士	3名	23～24日	九州医療専門学校、西九州大学
介護福祉士	3名	10日間	西九州短期大学
老人センター見学実習	27名	1日	佐賀県立総合看護学院

【評価・課題】

社会福祉法に定められた社会福祉法人の目的を達成するために、運営基準に則して適切な運営を行った。事業並びに運営のために必要な財源確保が課題である。

## 2 地域福祉活動事業 (95,066,403 円)

### (1) 企画・広報費 (4,993,317 円)

#### ① 社会福祉大会の開催

市内の福祉関係者が一堂に会し、今後の福祉活動推進の意識を高めるとともに、社会福祉に功労のあった者を表彰し、講演を行い社会福祉事業の振興発展を目的に開催した。

期日：令和2年2月19日 場所：佐賀市文化会館中ホール 参加者：約700名

#### ② 社協だより“愛・あい”並びに支所だよりの発行

社会福祉協議会の事業を広く市民に知らせ、また理解と協力を求めるため、年4回（春・夏・秋・新春号）市内全世帯及び事業所に配布した。

支所が行う事業並びに地域活動を紹介し、社会福祉協議会活動の理解や地域活動の活性化を図るため支所だよりを作成し、配布・回覧した。

#### ③ ホームページの運用

佐賀市社会福祉協議会の事業・活動を広く市民に知らせ、また理解と協力を求めるため作成・公開した。

### (2) 地域福祉活動計画策定事業 (40,737 円)

「佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の第3期計画策定推進委員会を1回開催し、計画の進捗状況の把握と今後の重点事業の推進について検討及び次期計画策定スケジュールの確認のため策定推進委員会を開催予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため延期とし、令和二年度に開催することとなった。

### (3) ボランティアセンター事業 (2,017,056 円)

#### ボランティアセンター事業

市民のボランティアに対する意識高揚と参加を促進するとともに、ボランティアのコーディネート機能を強化し、ボランティアの活動基盤を整備することで活性化を図った。

#### ① センター運営事業

##### ・ ボランティアコーディネート機能の強化

市民からのボランティア活動に関する様々な相談に応じるとともに、ボランティア活動の活性化とニーズの把握、調整に努めた。

##### ・ 各ボランティア連絡（推進）協議会及びボランティア団体等との連携

各ボランティア連絡（推進）協議会やボランティア団体が開催する事業・研修会・定例会等への協力・連携を図った。

##### ・ ボランティア活動保険の活用促進

登録団体のボランティアが安心して活動に取り組めるよう、ボランティア活動中の事故に備えてボランティア活動保険に関する情報提供を行うとともに、保険加入や事故受付事務を行った。 加入受付：152団体、632名 事故申請：6件

#### ② 助成事業

##### ・ ボランティア活動（団体、協力校、連絡協議会等）の助成

社会福祉への理解と関心を深め、ボランティア精神を育む事を目的に学校における取り組み

に対し、助成を行った。また、福祉活動の振興を図るため、佐賀市を拠点に社会福祉事業を行っているボランティア団体等に対して、活動に要する経費の一部を助成した。

助成校：7校（小学校：3校、中学校：3校、高等専修学校：1校）

ボランティア団体：37団体 ボランティア連絡[推進]協議会：7団体

### ③指導派遣事業

#### ・福祉体験学習指導者派遣事業

地域、企業、学校等で開催される福祉総合学習（車椅子介助、アイマスク体験、高齢者疑似体験等）に指導者（クローバーの会）を派遣し、福祉教育の推進を図った。

種別	講座数（回）	派遣先
アイマスク	63	【学校】勸興小、赤松小、巨勢小、兵庫小、高木瀬小、北川副小、鍋島小、新栄小、開成小、諸富北小、諸富南小、春日小、川上小、三瀬小、西川副小、東与賀小、思斉小、成章中、城南中、城西中、金泉中、致遠館中、大和特別支援学校、清和高 【企業・地域団体】佐賀銀行、NPO法人セルフ 合計 27件
高齢者疑似体験	64	
車椅子体験	64	
合計	191	

### ④24時間テレビチャリティー募金活動等への支援

市内の福祉施設や団体、NPO法人等が行うチャリティー募金活動及び福祉車輛等の寄贈申し込みの取りまとめを行った。

チャリティー募金活動

期日：令和元年8月24日・25日 参加団体：5団体 募金箱設置：13団体

### (4) 災害ボランティアセンター事業（6,548,309円）

発災時、市民から復旧・復興活動が求められた場合に備え、速やかに活動の拠点となる災害ボランティアセンターを立ち上げ、被災者へのボランティア支援を行えるよう体制づくりを図った。

#### ・佐賀市災害ボランティアセンター立ち上げ

災害ボランティアセンターで募ったボランティアを佐賀市内で被災された世帯へ派遣し生活再建に向けた活動を行った。

期日：令和元年8月30日～10月17日

ニーズ件数：174世帯(延214件)

ボランティア数：748名

(市内：396名、県内：102名、九州内：186名、九州外：64名)

高速道路無料手続き 64件

運営スタッフ（職員等） 延511名

#### ・佐賀市総合防災訓練への参加

災害ボランティアセンターに関する説明会やパネル展示を通し、災害時における社会福祉協議会の役割について市民に周知した。

期日：令和2年2月1日

場所：小中一貫校思斉館中学部グラウンド及びその周辺

### (5) 高齢者ふれあいサロン事業（23,886,564円）※佐賀市委託

高齢者が住み慣れた地域や家庭で安心して暮らせるように、地域住民の協力により地域の様々な施設（地区公民館、集会所等）を利用し、高齢者や地域住民が気軽に集い、お互いに交流を深め、生きがいづくりや健康づくりを推進し、高齢者が閉じこもりや寝たきりにならないよう、自立生活の助長を図ることを目的に実施されるサロンに対し運営費の助成、また、併せてサロン設立や運営の支援等を行った。

新型コロナウイルス感染拡大予防のため昨年に比べ、開催数は自粛により減少した。

地区名	サロン数	開催数	参加者数	助成額(円)
勸興	4	36	795	265,000
循誘	15	180	3,062	1,130,000
日新	7	73	1,336	470,000
赤松	4	59	789	280,000

神野	12	128	2,821	960,000
西与賀	10	112	2,113	780,000
嘉瀬	4	54	963	320,000
巨勢	4	57	983	270,000
兵庫	13	141	1,989	850,220
高木瀬	9	129	3,350	780,000
北川副	11	182	3,093	850,000
本庄	8	129	2,227	620,000
鍋島	3	35	435	210,000
金立	8	221	2,961	630,000
久保泉	2	22	462	150,000
蓮池	4	43	679	300,000
新栄	10	395	7,146	850,000
若楠	3	34	613	220,000
開成	9	428	6,241	685,000
諸富	16	279	6,322	1,338,599
大和	25	520	7,487	1,950,000
富士	6	78	1,398	460,000
三瀬	6	69	969	420,000
川副	25	300	4,346	1,686,745
東与賀	4	42	832	310,000
久保田	11	196	2,651	840,000
合計	233	3,942	66,063	17,625,564

(6) 地域子育て支援センター事業 (11,762,394 円)

子育て中の親子が気軽に集うことができる広場を身近な地域に設置し、地域の子育て支援機能の充実に図り、子育ての不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援した。

① 子育て親子への交流の場の提供と交流の促進

• 交流の場の提供

子育て親子が自由に利用できる交流の場を設置した。

広場名	開館 日数	乳幼児数 (延人数)	保護者数 (延人数)	ボランティア数 (延人数)
ふれあい広場 (諸富)	227	3,390	2,539	229
ふれあいるーむ (富士)	209	1,382	1,351	45
赤ちゃん広場 (ほほえみ館)	18	316	323	77
むつごろう広場 (ほほえみ館)	18	270	239	150

• 交流の促進

地域のボランティアグループの協力により、「子育てサロン」を実施し、子育て親子や地域の方との世代間交流を図った。

ひろば名	実施 回数	乳幼児数 (延人数)	保護者数 (延人数)	ボランティア数 (延人数)
ふれあい広場 (諸富)	121	1,510	2,150	294
ふれあいるーむ (富士)	73	638	767	45
赤ちゃん広場 (ほほえみ館)	10	135	127	46

② 子育て等に関する相談、援助の実施

子育てについて不安を抱えている親の相談に応じるとともに、定期的に専門家による「乳幼児育児・発育相談」や子育てに役立つ講座を実施することにより、子育て不安の解消を図った。

(単位: 件)

	相談内容別					形態別			合計
	育児	就園	親の問題	家族	地域	来所	電話	その他	
基幹	295	63	42	30	8	314	1	123	438
富士	5					5			5

③ 地域の子育て関連情報の提供

子育てに関する情報や支援センターのイベント等を紹介する情報紙を発行するとともに、市報等

へ各広場で実施しているサロンや行事等の情報提供を行った。また、依頼があった子育て関係講座やイベント等のチラシやポスター等を設置し、来場者へ情報提供を行った。

④ 子育て及び子育て支援に関する講習等

- 子育て講座の開催…4回連続講座を2か所で実施
- 子育て支援者研修会の開催…子育てのための知識や技能を学ぶ研修会を実施し、子育てサポーターの育成を図るとともに、サポーターの質の向上を図った。  
実施回数：3回 参加数：延57名
- 子育てサークル等の育成・支援…子育てサークル等の育成支援を目的に、『サークル代表者会』を実施した。(年1回)(4サークル)
- サポーター会の実施…ふれあい広場に関わるサポーターの情報交換会として、年3回実施した。(参加者：延24名)

⑤ サークル支援の実施

地域にある子育てサークル・施設に出向き、手遊び・読み聞かせ等を行い支援した。

⑥ 家庭訪問型子育て支援『ホームスタート』事業

子育てに不安を抱えながらも相談できずに悩みを抱え、閉じこもりがちな就学前の乳幼児のいる家庭を、ボランティアが訪問し、寄り添いながら「傾聴」と「協働」を通して、親が心の安定や自信を取り戻し、虐待など深刻な問題の発生を未然に防ぐとともに、地域へと踏み出すきっかけづくりを支援するために実施した。

家庭訪問の実施状況

集計項目	
新規利用者数	38
通常終了者数	33
途中終了者数	4
保留家庭数	3
利用者数	54
子ども数	99
訪問回数	494
延訪問回数(OG&HV)	593
登録ビジター数	25
活動ビジター数	18
登録オーガナイザー数	4

申込者の特徴	
多胎児家庭	4
多児による育児疲労	7
初産による育児不安	16
第二子誕生による育児疲労	14
精神的育児不安	6
若年母子	1
家族問題	2
母子家庭	1
DVが疑われる家庭	3

ホームスタートビジター研修会(定例会)開催…開催数：4回 参加数：延59名

⑦ 地域の子育て力を高める取組みの実施

- 地域世代間交流事業の実施【出会いの広場】…親子と地域のつながりを深め、世代間交流の中で地域ぐるみの子育て支援を推進した。  
期日：令和元年5月11日 参加数：乳幼児121名、保護者136名、ボランティア等51名
- 地域ボランティア「昔遊びグループ」と連携し、広場で使えるおもちゃ(風車・凧・紙飛行機等)を作り、一緒に遊び・触れ合った。開催日：第4金曜日

⑧ 出張ひろば

市内5ヶ所に親子が共に遊び、自由に交流できる場を設置し、地域の拠点となるよう、地域の方の参加も促した。

⑨ 乳幼児一時預かり事業

- 広場での一時預かり(基幹・ほほえみ館・富士・大和)…子育て中の親が少しでもゆったりと豊かな気持ちで過ごすことができるよう、また急用時をサポートするため広場の開所時間内で乳幼児の一時預かりを行った。(年間48名受入)
- 出張託児の実施…子育て中の親が子育て講習等や各種イベントに安心して参加できるよう、開催場所に出向いて託児を行った。実施件数：延7件

(7) 多機関協働による相談支援包括化推進事業(15,789,896円) ※佐賀市委託

- 市役所福祉まるごと相談窓口相談支援包括化推進員を配置し、単独の相談支援機関だけでは対応が困難な複雑かつ複合的な課題を抱えた人や世帯の相談に応じるとともに、分野を超えた相談支援機関等のネットワークを構築し、それらの関係機関による連携した支援につなげた。

◆相談件数(各月相談件数及び連携件数) (単位：件)



相談	新規相談	調整	解決改善
605	377	143	462

◆相談者内訳 (単位：件)

本人	99
地域（親族、知人、民生委員、近隣住民等）	115
関係機関（地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、障がい者相談支援事業所、自立相談支援機関、医療機関、介護施設、警察署、法テラス、公営住宅担当部署、難病支援センター、引きこもり支援センター、ハローワーク、NPO、ひとり親支援団体、金融機関、刑務所、すまいサポートさが、市社会福祉協議会）	78
佐賀市役所（保健福祉部、子育て支援部、市民生活部、建設部）	85
合計	377

◆相談後の調整機関内訳 (単位：件)

本人	45
地域（親族、知人、民生委員、近隣住民）	56
関係機関（地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、障がい者相談事業所、障害者就労支援事業所、自立相談支援機関、地域若者サポートステーション、空き家・空地サポート、更生保護施設、警察、法テラス、医療機関、引きこもり地域支援センター、税務署、公営住宅担当部署、すまいサポートさが、市社会福祉協議会）等	208
佐賀市役所（保健福祉部、子育て支援部、市民生活部、建設部）等	153
合計	462

◆相談支援包括化推進会議の開催

代表者会議 ※豪雨災害の兼ね合いで中止	0回
実務担当者会議	2回
個別ケース検討会議	62回 (内主催 52回)

(8) 地域力強化推進事業（17,469,762円）※佐賀市委託

・専任の地区担当（コミュニティソーシャルワーカー、略して「CSW」）を配置し、地域に積極的に出向くことで地域住民が主体的に地域課題を把握し解決を試みる体制づくりを支援した。また、地域の中で孤立や困りごとを抱える世帯を包括的に受け止め、相談、助言、情報提供を行うとともに、必要に応じて支援機関に同行・連携することで地域課題の解決を図った。

・個別支援

◆延べ支援件数（相談件数及び支援件数） (単位：件)

	支援	新規相談	解決改善	調整
R元年度	1,376	68	68	87
H30年度	935	56	56	63

◆相談者年齢 (単位：件)

30代以下	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明
9	10	23	25	44	29	15

◆相談内容 (単位：件)

困窮・借金	62
障がい（疑いを含む）	35
引きこもり・不登校	25
孤立・生活不安	25
ゴミ屋敷	23
近所とのトラブル	22
住まい・ホームレス	20
就労・失業	18
認知症（疑いを含む）	12

虐待（疑いを含む）	12
親の年金頼みで子が無職	8
その他	21

◆連携機関

地域	自治会長、民生委員、知人、近隣住民
関係機関	地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、佐賀市生活自立支援センター、佐賀中部保健所、マベック、警察、法テラス

◆情報共有会議への出席（主催）（単位：件）

他機関	多機関	C S W	合計
5	9	2	16

地域支援

◆延べ支援件数 2,296件

◆新たな仕組みづくり支援（新規設置）（単位：件）

福祉協力員設置	3	日新、高木瀬、大和
福祉連絡会議	1	西与賀
高齢者サロン開設	5	巨勢 1か所、兵庫 3か所、本庄 1か所
コミュニティカフェ開設	8	金立 1か所、西与賀 2か所、鍋島 1か所、久保泉 2か所、三瀬 1か所、富士 1か所
校区社協常任理事会	1	日新
移動支援協議会設立	1	巨勢 1か所
合計	19	

(9) 地域福祉活動推進事業（12,558,368円）

① 本所

・各福祉団体助成

佐賀市における福祉活動の振興を図るため、社会福祉事業を目的とする福祉団体等の事業及び運営に要する経費に対して助成金を交付した。

◆運営費助成（7団体）…佐賀市遺族連合会、佐賀市原爆被害者の会、佐賀市視覚障害者福祉協会、佐賀市肢体不自由児・者父母の会、佐賀市身体障害者福祉協会連合会、佐賀市母子寡婦福祉連合会、佐賀市老人クラブ連合会

◆事業助成（2事業）…佐賀心理リハビリテーションキャンプ費（佐賀県若楠ふたばの会）  
佐賀市自治会協議会研修費（佐賀市自治会協議会）

・児童遊園地整備助成

市内地区自治会が児童福祉対策として、児童遊園地の新設、増設及び補修を行った場合、市とともに助成金を交付した。

校区	設置数(件)	助成額(円)	校区	設置数(件)	助成額(円)
西与賀	1	43,200	若楠	1	87,400
北川副	2	38,200	春日	2	148,600
本庄	3	91,300	川上	3	155,000
久保泉	1	100,000	東与賀	1	55,400
諸富	3	155,000	合計	17	874,100

・民生委員・児童委員支援事業

毎月の役員会、会長会、地区民協定例会に参加し、住民の福祉にかかわる地域福祉活動の推進を行っている民生委員児童委員の活動に対し支援・協力を行った。

・校区社協活動助成

「自分たちの地域の福祉課題は、まず自分たち自身で取り組もう。」という住民意識をもとに、小地域福祉活動を担う基礎組織として設置されている市内19校区の校区社会福祉協議会に対し協働で地域づくりに対しての支援と協力を行った。

◆校区社会福祉協議会運営費・活動費助成…各校区社会福祉協議会の運営・活動を支援するため

に、佐賀市と協調して助成を行った。

◆校区社会福祉協議会役員会・会長会の開催…校区社会福祉協議会相互の連携と事業の協力調整をはかり、活動の増進と支援を行った。役員会（４回）会長会（４回）

＜校区社協スローガン決定＞

校区社協会長、市福祉総務課及び本会職員からもスローガン案を募集し、60の案の中から厳正な投票の結果、下記のとおり佐賀市校区社会福祉協議会のスローガンを決定し、今後、校区社協行事や資料に使用する。 スローガン「共に支え合う・地域福祉のまちづくり」

◆校区社協役員研修会

地域で見守る体制づくりの強化（第3期 地域福祉計画・地域福祉活動計画）に向けて、小地域における見守り体制の在り方及び地域住民の拠点としての居場所の意義について視察・研修を行った。

期日 令和元年8月27日（火）～28日（水）

研修地 津久見市社会福祉協議会（大分県）…地域の中でのケース会議（区長・民生委員・介護予防推進員）について

国東市社会福祉協議会（大分県）…“くにさき地域応援協議会寄ろう会”の取り組みについて

※28日未明に発生した佐賀豪雨災害の影響により2日目の日程を中止

• 新たな居場所づくり事業（コミュニティカフェ）

地域の繋がりを再構築していくために、誰もが集える居場所づくり（コミュニティカフェ）の推進を進めていった。

	H29年度迄	H30年度	R元年度
カフェ設置数	5カ所	11カ所	8カ所

• 福祉協力員等設置推進支援事業

地域の実状に応じた福祉協力員の設置に向けた取り組みについて支援を行った。

	H29年度	H30年度	R元年度
福祉協力員数	1,553名	1,914名	2,044名
地区数	18校区	20校区	22校区

• 小災害罹災世帯に対する見舞

災害により罹災者が物的・精神的な援護が必要な状況において、自力更生の一時的な援助を図るため見舞金及び見舞品を支給した。

	発生件数	罹災世帯数	罹災人数	見舞金（円）
火災	10件	13世帯	35人	240,000

② 支所

	事業名	参加数	事業額(円)
諸富	高齢者生きがづくり促進事業	69	142,433
富士	出てこん場事業	522	247,744
三瀬	スマイル事業	231	57,026
	高齢者生きがづくり促進事業	14	25,405
東与賀	高齢者生きがづくり促進事業	21	60,371
久保田	高齢者生きがづくり促進事業	56	107,530
	技能ボランティア養成講座	延44	117,277
合計			757,786

【評価・課題】

地域において福祉活動を展開する団体等に対し、助成金を交付するなどにより、地域福祉を推進を促進した。また、地区担当（CSW）を配置し、住民主体による地域づくりに対する支援を継続して行った。

今後、市内全域に拡充し地域福祉の推進を強化していきたい。

### 3 共同募金配分金事業（19,885,256円）

#### (1) 歳末助け合い配分事業（6,573,540円）

前年度、運動期間中（12月1日から1ヶ月間）に集まった募金を共同募金会佐賀市支会に設置した配分委員会に諮り、住民ニーズに応じた事業を展開した。

本支所	事業名	事業総額(円)	配分額(円)
本 所	年末年始地域福祉交流事業(校区社協)	4,276,000	4,276,000
	事務費	306,562	306,562
諸 富	歳末ふれあい事業(餅つき)	269,016	269,016
大 和	年末年始ふれあいまつり事業助成	90,000	90,000
	高齢者ふれあい会食会助成事業	501,000	501,000
富 士	世代間ふれあい交流事業(餅つき)	173,000	173,000
三 瀬	世代間交流事業(餅つき・しめ縄づくり)	70,764	70,764
川 副	世代間交流事業(餅つき)	259,473	259,473
	世代間交流事業(しめ縄づくり)	148,527	148,527
東与賀	高齢者ふれあい会食会助成事業	247,400	235,000
久保田	地域ふれあい訪問交流事業(高齢者世帯訪問)	75,873	75,873
	世代間交流事業(しめ縄づくり)	55,925	51,725
	年末年始地域福祉交流助成	100,000	100,000
合計		6,573,540	6,556,940

#### ◆年末・年始地域福祉交流事業

各校区社会福祉協議会が自らの福祉課題に応じて行う年末・年始の事業に対し、助成を行うことで、地域での特性を活かした住民同士の交流を深めることができた。

地区名	事業内容	助成額(円)
勸 興	一人暮らしの方への年賀状、まちの駅、ふれあい親子しめ縄づくり・餅つき大会、ほんげんぎょう・もぐら打ち	150,000
循 誘	ふれあいふるさと祭り、もうすぐ正月祭	235,000
日 新	野菜バイキング、ミニミニライトファンタジー、しめ縄作り・豚汁会、高齢者と児童・園児との交流会	309,000
赤 松	鯨の門コンサート、ふれあいの集い、鯨の門まつり、一人暮らし高齢者年賀状制作・配布、餅つき大会としめ縄・ミニ門松づくり	355,000
神 野	カブト虫大会、ひとり暮らし高齢者料理教室、ふれあいサロンスタッフ研修会、ひとり暮らし高齢者交流会、ひとり暮らし高齢者クリスマスプレゼント、男性健康維持研修会	308,000
西与賀	一人暮らし高齢者ふれあいの集い、防災訓練、しめ縄づくり教室	209,000
嘉 瀬	しめ縄づくり、年賀状作成配布、どうようひろば、餅つき	158,000
巨 勢	グランドゴルフ大会、餅つき・ミニ門松づくり、小学校昔遊び教室	105,000
兵 庫	友愛・兵庫のつどい、友愛年賀状配布、秋のふれあいの集い	180,000
高木瀬	しめ縄づくり・豚汁会、高齢者へのクリスマスプレゼント、三世代交流事業、こんにちは赤ちゃん訪問事業	462,000
北川副	ふれあいの集い、しめ縄づくり、友愛年賀状配布	314,000
本 庄	しめ縄づくり、餅つき大会	248,000
鍋 島	防災講座・訓練、独居高齢者バスハイク、餅つき大会、独居高齢者への年賀状、救急救命講座	283,000
金 立	ふれあいの集い	130,000

久保泉	ほんげんぎょう、餅つき大会	68,000
蓮池	しめ縄を作ろう、みんなんで昼食会	55,000
新栄	三世代ふれあいグランドゴルフ大会、年末年始交流餅つき大会・雑煮会、ほんげんぎょう	257,000
若楠	餅つき会、住民交流会、研修会、クリスマス会・もぐら打ち、研修会、ほんげんぎょう、七草粥	250,000
開成	三世代グランドゴルフ、ほんげんぎょう、じいちゃん・ばあちゃん・ちびっ子ふれあいデー	200,000
合 計		4,276,000

(2) 共同募金配分金事業 (13,311,716 円)

- ① 佐賀県共同募金会の配分委員会の議決に基づく佐賀市社会福祉協議会への配分金事業として行った。

[全事業]

本支所	事業名	事業額(円)	配分金充当額(円)
全市	福祉のまちづくり支援事業	1,617,135	1,325,956
	自治公民館備品整備助成事業	5,098,416	1,709,196
	在宅高齢者会食会等助成事業	1,380,238	1,364,700
本所	校区社会福祉協議会運営費助成	5,841,000	3,941,000
	社協だより“愛あい”の発行 支所だよりの発行	4,652,613	702,930
	地域子育て支援センター	11,432,660	488,284
諸富	地域高齢者生活支援事業	102,049	102,049
	福祉の地域づくり事業	74,022	74,022
大和	大和まほろば広場(子育て支援事業)	1,444,858	160,000
富士	一人暮らし高齢者見守り事業	7,500	7,500
	ふれあいチャレンジ塾	79,865	55,865
三瀬	三瀬ふれあいチャレンジ塾	134,957	114,457
	みつせマイルキッズと広場(子育て支援事業)	45,543	45,543
川副	ふれあい会食会助成事業	107,000	107,000
	地域ふれあい交流事業	207,000	207,000
東与賀	よかつこ広場(子育て支援事業)	126,000	126,000
久保田	ふれあい会食会(世代間交流事業)	131,324	116,924
	地域ふれあい交流事業	19,890	19,890
	なかよし広場(子育て支援事業)	56,684	56,684
合 計			10,725,000

- ② 福祉のまちづくり支援事業

申請団体	事業名	事業総額(円)	配分額(円)
兵庫校区社会福祉協議会	地域福祉推進拡充事業	140,000	112,000
北川副校区自治会	地域福祉推進拡充事業	299,700	239,000
本庄校区社会福祉協議会	安心・安全なまちづくり支援事業	141,804	113,000
久保泉校区自治会	安心・安全なまちづくり支援事業	280,584	224,000
巨勢校区社会福祉協議会	安心・安全なまちづくり支援事業	144,165	115,000
赤松校区社会福祉協議会	地域福祉推進拡充事業	287,000	229,000
佐賀市社会福祉協議会	地域福祉推進拡充事業	323,882	293,956
合 計		1,617,135	1,325,956

- ③ 自治公民館備品整備助成事業

校区	申請団体	整備備品	事業総額(円)	配分額(円)
勸興	西大島自治会	エアコン	127,700	50,000
日新	中折町自治会	椅子・机	141,020	50,000
	八戸南自治会	椅子・机	99,846	50,000
赤松	東城内自治会	テレビ	66,375	50,000
西与賀	今津上自治会	椅子、IHコンロ	62,960	50,000

巨 勢	東分上自治会	机	124,200	50,000
兵 庫	伊賀屋自治会	掃除機	30,024	24,000
高木瀬	寄人自治会	掃除機	75,000	50,000
北川副	光法自治会	椅子	59,400	47,000
	新郷自治会	椅子	64,480	50,000
本 庄	正里自治会	椅子	90,590	50,000
	東寺小路自治会	椅子	64,360	50,000
鍋 島	津留自治会	エアコン	146,480	50,000
	木ノ角自治会	エアコン	852,714	50,000
金 立	金立二区自治会	机	58,188	46,000
久保泉	下和泉二自治会	椅子・机	510,000	50,000
蓮 池	紺屋町自治会	机	62,982	50,000
新 栄	天祐一丁目自治会	冷蔵庫	88,884	50,000
諸 富	山領自治会	椅子	64,368	50,000
	太田自治会	温水洗浄便座	110,000	50,000
春 日	南小路団地自治会	椅子	85,968	50,000
	八反原自治会	椅子	48,016	38,000
春日北	小川一区西自治会	マイクセット	163,000	50,000
川 上	サングリーン大和自治会	マイクセット	57,024	45,000
	今山自治会	エアコン	525,420	50,000
松 梅	下田自治会	温水洗浄便座	70,000	50,000
富 士	栗並自治会	エアコン	120,636	50,000
	大野自治会	エアコン	297,000	50,000
三 瀬	井出野自治会	テレビ	189,188	50,000
南川副	南 23 区南自治会	エアコン	212,976	50,000
西川副	野々古賀自治会	椅子・机	49,489	39,000
東与賀	梅田自治会	エアコン	164,900	50,000
	今町西自治会	マイクセット	79,380	50,000
久保田	金丸自治会	温水洗浄便座	66,080	50,000
	新田自治会	掃除機、暖房器具	69,768	50,000
配分事務費				20,196
合 計			5,098,416	1,709,196

④ 在宅高齢者会食会等助成

地域の高齢者が公民館等で会食の機会を通して、地域の見守りのための「気づき・実践の場」となることを目的に、地区社協、地区民協等が行う会食会に対し助成を行った。

地区名	実施団体	開催数	参加者数	助成額(円)
勸 興	勸興校区社協	2	215	64,500
循 誘	循誘校区社協	4	481	144,300
日 新	日新校区社協ひまわり会	3	451	135,300
嘉 瀬	せいらんボランティア	2	116	34,800
巨 勢	ボランティア巨勢	5	298	89,400
	巨勢地区民児協	1	65	19,500
兵 庫	兵庫校区社協	1	81	24,300
高木瀬	ボランティア高木瀬	1	103	30,900
	高木瀬地区民児協	1	149	44,700
北川副	ボランティア北川副	10	676	202,800
	北川副校区社協	3	690	185,000
本 庄	本庄校区社協	1	163	48,900
鍋 島	ボランティア鍋島	1	228	45,600
久保泉	いずみボランティア	2	173	34,600

蓮池	蓮池校区社協	2	78	23,400
新栄	新栄ボランティア	2	200	60,000
	新栄地区民児協	1	68	20,400
若楠	若楠校区社協	1	93	27,900
開成	開成ボランティアひまわり	3	540	128,400
合計		46	4,868	1,364,700

⑤ みんなで支えあう福祉のまちづくり研修会（福祉のまちづくり支援事業）

期日 令和元年9月30日

場所 佐賀市文化会館 中ホール

参加数 約600名

・ 基調講演

「地域で暮らすために（助けて！と言える地域づくり）」

～8050問題・ひきこもりと向き合う地域！今、できること～

講師 ご近所福祉クリエイター 酒井 保氏

【評価・課題】

共同募金並びに歳末たすけあい募金配分金が、地域福祉推進団体（校区社協、民生委員・児童委員協議会、自治会、ボランティア団体等）の活動財源として活用され、地域福祉の推進につながった。

今後も、地域福祉推進団体と協議連携しながら、貴重な地域福祉推進の財源である配分金の有効活用を図って行く。

4 福祉サービス利用支援事業（29,233,182円）

① 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）（11,879,288円）

- 「福祉サービス利用者の利益の保護」を図ることを目的に、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方が安心して自立した地域生活を送れるよう、福祉サービスの利用援助等を行い支援した。

相談、契約・解約件数（令和2年3月末現在）

（単位：件）

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
相談・問合せ	1,822	1,378	2,057	0	5,257
新規契約	8	1	8	0	17
解約	12	1	5	0	18

◆ 契約者数（令和2年3月末現在）

（単位：人）

支所名	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計	相談実績（件/年）	延支援件数（件/年）
本所	32	26	23	1	82	4,321	1,413
諸富	0	1	1	1	3	89	36
大和	2	10	1	0	13	195	157
富士	1	0	0	0	1	18	12
三瀬	0	1	0	0	1	4	2
川副	8	2	8	0	18	203	267
東与賀	1	0	2	0	3	169	82
久保田	2	1	1	0	4	258	96
合計	46	41	36	2	125	5,257	2,065
平成30年度末	49	41	33	2	125	5,963	2,099

② 法人後見事業（2,771,000円）

- 法人（成年）後見人等として、身上監護や財産管理などの生活全般を継続的かつ長期的に支援し、被後見人等の権利擁護並びに意思決定支援を重視し、関係機関と連携・調整を行いながら後見業務を実施した。

	問い合わせ 相談件数	受任件数	類型内訳		
			後見	保佐	補助
平成 30年度	93件	15件	10件	4件	1件
令和 元年度	69件	18件 (これまでの類型 受任数26件)	13件 (うち市長申立 件数10件)	4件 (うち市長申立 件数2件)	1件 (うち市長申立 件数0件)

	後見	保佐	補助
支援件数	202件	62件	15件
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的または突発的な対処のための訪問</li> <li>・日常生活に係る料金、利用料の支払い</li> <li>・施設、病院等の利用契約</li> <li>・各福祉サービスの利用契約手続き</li> <li>・相続関係手続き</li> <li>・年金、金融機関等の手続き</li> <li>・福祉・医療機関との調整会議</li> <li>・生活保護の申請手続き</li> <li>・法的な手続き等</li> <li>・後見等終了後の親族、関係者への引継ぎ</li> </ul>		

類型	在宅	施設	病院
後見	1	10	2
保佐	0	3	1
補助	0	1	0

### ③ 移送サービス事業 (118,941円)

- ・既存の交通機関による移動が困難な車椅子利用の高齢者や身体障がい者を対象に、ボランティアの協力のもと、車椅子搬送仕様自動車を利用した移送サービスを提供した。(利用対象地域：三瀬村、富士町、大和町松梅地区)

利用登録者： 8名      利用回数：延37回      運転ボランティア：8名

### ④ 松梅児童クラブ事業 (3,515,000円) ※佐賀市委託

- ・就労等のため、放課後に保護者がいない家庭の児童に対し、遊びと生活の場を提供し、児童を犯罪から守るとともに健全育成を図った。

場所：松梅保育所      開館日数：233日      利用児童数：延4,373名 (平均18.7名)

### ⑤ 富士町コミュニティバス運行事業 (3,741,366円) ※佐賀市委託

- ・市町村運営有償運送として佐賀市富士地区で運行するコミュニティバスについて、佐賀市からの委託を受け実施した。(令和元年度終了)

運行日数

実施日数(日)	延利用者数(名)	1回平均(名)	バス券発行数(名)
172	2,116	12.3	59

- ・富士地区高齢者憩いの家事業

自ら外出手段を持たない高齢者等の交通弱者に対し、外出の機会を提供することにより、閉じこもりの防止及び社会参加の促進を図り、自立した生活環境づくりを支援した。

実施日数(日)	延利用者数(名)	1日平均(名)
172	1,387	8.1



⑥ 流水浴機器管理運営事業（2,285,000円）※佐賀市委託

- 市民の健康増進と、生涯を健康で過ごせる体づくりや生活習慣病の予防を目的に、温泉水を利用した三種類（スイムライフ、アクアビューティー、アクアファイブ）の流水浴機器を利用し実施した。利用者：延1,503名

⑦ 産業振興会館管理事業（1,661,587円）※佐賀市委託

- 地場産業の振興と、市民の福祉等の向上を図る産業振興会館の管理及び会議室等の貸し出しを行った。

大会議室		情報交流室		研修室		教養室		アトリウム		合計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
135	6,738	81	1,159	130	1,366	64	1,279	18	540	428	11,082

⑧ 久保田総合センター管理事業（3,261,000円）※佐賀市委託

- 文化的サークル活動や健康づくり・生涯学習の拠点施設である老人福祉センター、農村環境改善センター、高齢者交流施設、保健センター（4施設）の会議室等の貸し出しや利用状況の把握等の管理業務を行うとともに、各施設の利用調整を行った。

老人福祉センター		農村環境改善センター		高齢者交流施設		保健センター		計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
406	3,655	1,504	37,955	87	1,570	112	11,369	2,109	54,549

- 老人福祉センター附属施設

高齢者小規模作業所		高齢者ふれあいプラザ		計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数
50	412	42	1,102	92	1,514

⑨ 佐賀市東与賀保健福祉センター管理事業

センター管理、会議室等の貸し出しや利用状況の把握等の管理業務を行った。

大広間		会議室		市民相談室・ビ リヤード室		相談室		調理室	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
49	716	65	972	—	—	41	755	11	504
集団指導室		機能訓練室		診察室		歯科検査室		計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
147	3,181	62	2,088	16	959	9	525	400	9,700

【評価・課題】

福祉サービス利用援助事業や法人後見事業の実施により、利用者の生活の安定や権利擁護につなげた。事業に対するニーズは年々増加しており、引き続き、事業の拡充を図る。

5 生活福祉資金貸付事業（6,107,779円）

① 生活福祉資金事業（3,083,000円）

金融機関からの借入れや公的貸付制度の利用が困難な所得の少ない世帯、障がい者や介護を要する高齢者の属する世帯に対し、必要な資金の貸付けと相談援助を行った。また、貸付に結びつかなかった世帯に対して、関係機関へ繋ぐことで切れ目のない支援を行った。

対象世帯…低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯、失業中の世帯等

資金種類…生活福祉資金（総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金）

（単位：件）

	生活福祉資金	臨時特例 つなぎ資金	合計	内訳
相談等件数	253	2	255	生活福祉資金 総合18件、福祉67件、 緊急79件、教育23件、

				不動産13件、その他53件
貸付件数	4	0	4	生活福祉資金 福祉費2件、緊急小口1件、教育1件

貸付に至らなかったケースについては、今後の生活支援をしていくうえで関係機関等に情報提供をし連携を図った…佐賀市生活自立支援センター、地域包括支援センター、社協内地域担当(CSW)、佐賀市役所(生活福祉課・こども家庭課)他

## ② 福祉資金貸付事業 (3,024,779円)

- 低所得世帯の自立更生のため、他からの資金貸付が困難かつ緊急の場合に3万円を上限として貸し付けを行った。

	件数(件)	金額(円)
相談・問い合わせ	175	
貸付	111	2,904,898
償還	162	3,007,398

※貸付と償還の件数差は、1件の貸付に対し、最長6回までの償還回数となる場合があるため。加えて生活困窮世帯に対して食糧支援を行った。

食料支援	35件	54食
------	-----	-----

### 【評価・課題】

生活福祉資金の貸付により、対象世帯が更なる困窮に陥らないよう、生活全般に対する助言等での自立的生活に向けた取り組みを支援した。また、命を最優先に必要なに応じ食糧の提供を行った。

## II. 施設経営事業拠点区分 (86,774,816円)

### 1 老人福祉センター事業 (64,632,961円)

高齢者が地域で安心して、心豊かに楽しく過ごせる場所を提供するため、市内5箇所(平松、巨勢、金立、開成、大和)の老人福祉センター等を運営した。各センターでは高齢者大学、クラブ活動や季節の行事などを行い、生きがいの充足、積極的な「仲間づくり」を進めている、また健康相談を実施し、健康で明るい生活を営んでもらうための事業の推進に努めた。

#### ① 平松老人福祉センター事業 (いきがい館平松) (20,036,113円)

##### ◆年間の利用者数

(単位:名)

	市内	市外	合計	1日平均
男	19,446	280	19,726	
女	13,229	70	13,299	
合計	32,675	350	33,025	120.1

##### ◆佐賀市平松清風大学(開講日:火曜日ただし8月は休み)

長寿社会の中で、高齢者が積極的に学習に取り組むことで、生きがいを見つけ生活をより充実させることや、地域社会の活動に貢献できる人材を育成することを目的として実施した。

学生数 118名(1年生62名 2年生56名)

入学式 平成31年4月9日

講義 一般教養、郷土史、健康、園芸、企画学習(グループ討議、各学年ふれあい授業、自主企画授業)、1・2年生交流授業、同期生講師による講義、学生活動「文集ひらまつ」及び「学校新聞せいふう」の発行、運動会、研修旅行

講義数 1年生37回、2年生37回

クラブ活動 グラウンドゴルフ、歩こう会、園芸、絵手紙、パソコン、マージャン

#### ② 巨勢老人福祉センター(いきがい館巨勢)事業 (17,260,248円) ※佐賀市委託

##### ◆年間の利用者数

(単位:名)

	市内	市外	合計	1日平均
男	9,474	214	9,688	
女	10,298	411	10,709	

合計	19,772	625	20,397	74.1
----	--------	-----	--------	------

◆巨勢シルバーカレッジ（開講日：原則、第1・第3木曜日ただし8月は休み）

高齢者が福祉社会をより深く認識し、より快適な暮らしを高める能力を身につけるとともに地域社会に貢献できるボランティアを育成することを目標として開設した。

学生数	48名（1年制）
入学式	平成31年4月19日
講義	一般教養、郷土史、健康づくり等
講義数	19回
修了式	令和2年3月12日

③ 開成老人福祉センター（いきがい館開成）事業（14,505,509円）※佐賀市委託

◆年間の利用者数（単位：名）

	市内	市外	合計	1日平均
男	7,399	2	7,401	
女	3,783	3	3,786	
合計	11,182	5	11,187	38.8

④ 大和老人福祉センター事業（いきがい館大和）事業（12,831,091円）※佐賀市委託

◆年間の利用者数（単位：名）

	市内	市外	合計	1日平均
男	1,741	0	1,741	
女	2,611	0	2,611	
合計	4,352	0	4,352	15.7

◆大和いきがい文化講座（開講日：原則、第3水曜日）

高齢者が福祉社会をより深く認識し、地域社会に貢献できる教養を身につけることを目標として開設した。

学生数	30名（1年制）
開講式	平成31年4月17日
講義	ヨガによる健康づくり、郷土史、救急法等
講義数	14回
修了式	令和2年3月18日

## 2 金立いきいの家事業

① 金立いきいの家（いきがい館金立）事業（12,776,947円）※佐賀市委託

◆年間利用者数（単位：名）

	市内	市外	合計	1日平均
男	4,493	414	4,907	
女	6,488	122	6,610	
合計	10,981	536	11,517	42

◆金立いきいの家文化講座（開講日：原則として第4金曜日）

本格的な高齢化社会を迎え、健康で明るい人生を送るために、「未知との出会い」、「人とのふれあい」、「学ぶよろこび」を再発見することを目的に開設した。

学生数	45名（1年制）
開講式	平成31年4月26日
講義	一般教養、健康づくり、園芸、郷土史等
講義数	14回（16回予定のうち2月、3月は中止）
修了式	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休館により中止

## 3 松梅児童館委託事業

① 松梅児童館委託事業（9,364,908円）※佐賀市委託

松梅地区唯一の保育施設として、遊びを通じた子どもの育成と「子育て家庭の支援」、「地域の子育て環境づくり」を柱とした事業を計画し、子どもの健やかな成長を支えた。

開館日数(日)	利用者(名)					1日平均
	保育児	幼児	小学生	一般	合計	

133	1,776	252	178	587	2,793	21
-----	-------	-----	-----	-----	-------	----

○保育事業

○地域住民との交流事業

【評価・課題】

令和元年9月30日まで市指定管理事業として実施した。10月1日から、市委託を受け、松梅保育所運営事業へ変更。

### Ⅲ. 介護保険等事業拠点区分 (34,288,305 円)

#### 1 居宅介護支援事業

介護保険法により介護認定を受けた方の心身の状況や、その置かれている環境等を把握し、関係機関と連携を図りながら、希望に応じて適切なサービスを多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるようケアプラン作成、要介護認定調査、介護保険サービスの調整等を行った。

① 居宅介護支援南部事業所 (10,245,246 円)

介護支援専門員体制 3名 (常勤専従2名/兼務1名)

要介護認定調査 13件

ケアプラン管理者数 (令和2年3月末現在) (単位:名)

介護度	人数
要介護 (1~5)	55
要支援 (1~2)	10

#### 2 通所介護事業

要支援及び要介護認定を受けた高齢者が、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴・食事・レクリエーション等のサービスを提供した。

① 開成デイサービスセンター事業 (24,043,059 円)

実施日数 (日)	延利用者数 (名)	1日平均 (名)
254	3,610	14.2

【評価・課題】

介護保険制度改正により、厳しい運営状況が続いている。各種の地域福祉活動を展開するための貴重な自主財源確保に資する取り組みではあるが、事業の継続については検討を要する。

### 公益事業 (8,354,000 円)

### Ⅳ. 認可外保育施設運営拠点区分

#### 1 松梅保育所運営事業

① 松梅保育所運営事業 (8,354,000 円) ※佐賀市委託

松梅地区唯一の保育施設として、遊びを通じた子どもの育成と「子育て家庭の支援」、「地域の子育て環境づくり」を柱とした事業を計画し、子どもの穏やかな成長を支えた。

開館日数(日)	利用者(名)					1日平均
	保育児	幼児	小学生	一般	合計	
124	1,996	123	93	200	2,412	19

○保育事業

○地域住民との交流事業

【評価・課題】

令和元年10月1日から市委託事業として運営。適切な運営に努めることにより事業の目的は達成できている。施設の老朽化が進み管理の面で徐々に支障が生じ始めている。

その他の事業

V. その他の事業

1 共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力（佐賀県共同募金会佐賀市支会）

日本で唯一法律に基づいて行われる募金活動として、公的な福祉サービスでは支えられない分野の支援を行うため、佐賀県共同募金会佐賀市支会として募金活動を展開し、集まった募金は佐賀県共同募金会に全額送金した。

(1) 赤い羽根共同募金

「しあわせを みんなでねがう あかいはね」をメインテーマに、10月1日から12月31日までの3ヶ月間、各種団体などの協力を得て実施した。

(単位：円)

種別 本支所	戸別募金	法人募金	街頭募金	学校募金	職域(資材)	その他	合計
本所	9,752,561	2,264,465	129,925	128,698	1,367,148	183,672	13,826,469
諸富	943,330	636,596	0	7,202	240,148	1,994	1,829,270
大和	1,947,135	133,000	35,348	18,680	203,340	3,405	2,340,908
富士	323,000	414,000	0	32,983	170,940	78,687	1,019,610
三瀬	135,100	97,500	61,549	3,447	53,460	0	351,056
川副	1,338,750	501,000	0	32,265	67,720	3	1,939,738
東与賀	827,050	187,000	37,440	0	153,240	9,779	1,214,509
久保田	737,100	236,000	0	261	133,470	13,145	1,119,976
県共募扱	0	0	0	19,102	50,530	49,967	119,599
合計	16,004,026	4,469,561	264,262	242,638	2,439,996	340,652	23,761,135

(2) 歳末たすけあい募金

「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、12月1日から12月31日までの1ヶ月間、各種団体などの協力を得て実施し、集まった募金は佐賀県共同募金会に全額送金した。

(単位：円)

種別 本支所	戸別募金	その他	合計
本所	4,344,925	142,941	4,487,866
諸富	290,880	7,565	298,445
大和	559,810	4,262	564,072
富士	115,700	103,091	218,791
三瀬	38,600	49,333	87,933
川副	384,100	2,600	386,700
東与賀	236,300	3,520	239,820
久保田	210,600	26,623	237,223
合計	6,180,915	339,935	6,520,850

2 日本赤十字社事業の推進（日本赤十字社佐賀県支部佐賀市地区）

国際救護活動や災害救護活動等の人道的使命に基づき、国内外で事業を実施している日本赤十字社の佐賀市地区として、赤十字事業の普及と事業推進に必要な資金を確保するため社員の確保に努めた。

(単位：円)

本支所	会費・寄付金	本支所	会費・寄付金
本 所	11,123,290	川 副	1,985,500
諸 富	1,261,800	東与賀	1,173,500
大 和	2,778,800	久保田	1,053,500
富 士	462,000	合 計	20,031,390
三 瀬	193,000		

### (1) 各種講習会

佐賀県支部が開催する各種講習会の開催を積極的に推進するとともに、市内で行われる救急法などの講習に講師又は指導員の派遣調整を行った。

#### ① 2019 赤十字運動月間「防災セミナー」

期日：令和元年5月23日

会場：メートプラザ佐賀

参加者：126名

#### ② 講習への講師（指導員）派遣

救急法：2ヶ所、幼児安全法：3ヶ所、健康生活支援：1ヶ所

### (2) 防災・減災活動等への取り組みに対する助成

校区自治会及び自主防災組織等が、防災・減災意識の高揚を目的に実施する防災・減災活動及び研修会、講習会等に対して助成金を交付し、地域における日本赤十字社活動の普及と誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進を図った。

助成金交付：2校区

### (3) 災害義援金の募集・受付

各地で発生した災害などに対し義援金の募集及び受付を行い、集まった義援金は日本赤十字社佐賀県支部を通じて被災地へ送金した。

「平成28年熊本地震災害義援金」 81,085円

「東日本大震災義援金」 53,468円

「平成29年7月5日からの大雨災害義援金」 24,436円

「平成30年7月豪雨災害義援金」 124,094円

「平成30年北海道胆振東部地震災害義援金」 33,158円

「令和元年8月豪雨災害義援金」 965,038円

「令和元年台風15号千葉県災害義援金」 300円

「令和元年台風19号災害義援金」 19,560円

### (4) 火事等の罹災世帯への援助

市民で災害により罹災者が物的・精神的な援護を必要とする場合、見舞金や毛布、日用品等の物資を支給することで、自力更生を支援した。

#### 【評価・課題】

共同募金、赤十字の両事業ともに、佐賀市の事務局を社会福祉協議会が併せ持って取り組んでいる。  
両事業ともに、地域福祉の推進と地域の安全安心につながる事業であるため、継続して取り組む必要がある。